

万が一のとき、私たちはどうすべきか、何も起こっていない
今こそ、しっかりと考えるときなのかもしれません



あ 水害に強いまちづくりシンポジウム あれから20年水害の記憶忘れない (鹿島台)

昭和 61 年の夏、鹿島台地域に大きな被害をもたらした
8.5 豪雨から 20 年。8 月 5 日、「水害に強いまちづくりシン
ポジウム」が鹿島台鎌田記念ホールで開かれました。「災
害報道で問われるもの」と題した基調講演では、情報の正
確さやきめ細かさ、伝達の手速、復興までの長期的な報道
の必要性などが話されました。また、パネルディスカッ
ションでは、災害状況や水防活動状況、被災体験談など、
当時の悲惨な様子が語られ、参加者はこの討論を通じて、
地域防災の大切さや水防への認識を新たにしていました。



これから先、自然と共に生きる農法の一つとして、
大きな期待が寄せられています

地 大崎市地域再生計画認定書授与 地域の取り組みが認められました (田尻)

7 月 28 日、マガンの里づくり支援センターで、大崎市地
域再生計画認定書の授与が行われました。田尻の NPO 法
人「田んぼ」代表の岩淵成紀さんが中心となり、田尻地域
を上げて取り組む「ふゆみずたんぼ(冬期湛水水田)」の取
組みが内閣府に認められたものです。「ふゆみずたんぼ」
は、冬場の田んぼに水をはったままにすることで、蕪栗沼
に過度に集中する渡り鳥を分散させ、渡り鳥や水生生物の
力を借りて、農業や化学肥料を使わない、自然にやさしい、
付加価値の高い米づくりを行うものです。また、小・中学
生の環境教育にも大きく貢献しています。

8 月 15 日、鳴子公民館大ホールを会場に鳴子地域の成
人式が行われ、新成人 73 人の晴れの門出を祝いました。
毎年、地元へ帰ってきやすいお盆の時期に行われる市内唯
一の夏の成人式で、夏らしく浴衣姿の参加者もあり、久し
ぶりに会う友人との旧友を温めあっていました。

大人の仲間入りをした新成人の皆さん、これからは何を
するにも責任がついてまわります。大人としての自覚を持
ち、自分の夢に向かって、さらに大きく大胆な一歩を踏み
出してください。

市 平成 18 年度鳴子温泉地域成人式 市内唯一の夏の成人式 (鳴子温泉)



成人式は一つの節目。皆さんのこれからに期待大です

7 月 28 日～30 日の 3 日間、岩出山地域真山地区で、「夏
休み!田舎探検 in いわでやま」が開催されました。東京都
台東区の平久小学校 4 年生から 6 年生の児童 30 人が参加
し、真山地区内の協力家庭に民泊しながら、ナスやトマト
の収穫体験、竹細工やまゆ細工づくり、虫捕り、餅つきな
ど、地元の人たちのあたたかさに触れながら、都会ではな
かなかできない体験をしました。子どもたちは、虫かご
いっぱいに取りれたカブトムシやクワガタに大喜び。中には、
初めて触った子もいて皆さん大興奮のようでした。

自 夏休み!田舎探検 in いわでやま 自分で取ったカブトムシに大興奮!(岩出山)



みんな田舎らしい楽しい夏休みを満喫しました



港南区と三本木を結んだひまわりの丘でパチリ

大 横浜市港南区との「ひまわり生活体験事業」 大きく花開いたひまわりの縁 (三本木)

三本木地域は、昭和 63 年からひまわりが区花の横浜市
港南区と、ひまわりが縁となりさまざまな分野で交流を進
めています。8 月 9 日から 11 日の 3 日間、港南区の子ど
もたち 23 人が三本木を訪れ、地元の子どもたちと交流す
る「ひまわり生活体験事業」が行われました。子どもたち
は、ひまわりの丘の見学や鳴瀬川の水生生物調査、キャン
プファイアーや野菜の摘み取り体験などで楽しく交流を深
め、夏休みの思い出をたくさんつくりました。来年は、三
本木地域の子どもたちが港南区を訪問する予定です。



みんな一緒に外で食べるカレーライスは格別です

力 平成 18 年度インリーダー研修会 力を合わせれば何でもできる!(松山)

7 月 23 日から 25 日の 3 日間、松山小学校と下伊場野小
学校の 5 年生 59 人が、国立花山少年自然の家で「平成 18
年度インリーダー研修会」を行いました。子どもたちは 6
班に別れ、力を合わせながら、登山や野外炊飯、創作活動
の「焼き板」づくりなどを行い、仲間たちとの共同生活を
通して自主性や自立心を養いました。

最終日、期間中ずっとお世話してくれた中・高生のジュ
ニアリーダーから歌がプレゼントされ、感激と楽しかった
3 日間を惜しんで涙をこぼす児童もいました。



ゴールは目の前もうひとふんばりだ



苦楽を共にした仲間と一緒に感動のゴール

歩 第 4 回おおさき 100 キロ徒歩の旅 歩きぬいた自信は大きな宝物 (古川)

大崎地方一円およそ 100km の道のりを自分の足で歩き
とおす「第 4 回おおさき 100 k m 徒歩の旅」。8 月 9 日から
13 日の 5 日間にわたり、市内の小学 4 ～ 6 年生 112 人が
参加して開催されました。岩出山を出発し、加美町、色麻
町、三本木、松山、鹿島台、美里町(南郷)、涌谷町、田尻、
美里町(小牛田)、古川の順にコースを巡り、ボランティア
スタッフの支援や沿道の人たちからのあたたかい励ましを
受けながら、日一日と着実に歩を進め、最終日、家族が待
つ古川第一小学校に見事全員がゴールを果たしました。

親元を離れ、暑さや足の痛みに耐えながら 100km を歩き
とおしたこの 5 日間、子どもたちは、ひとまわりもふたま
わりも大きく成長したようです。